



ネイチャーなら

発行 20 年 24 月 1 日

4 月号 第 12 号

奈良・人と自然の会

会長 阿部 和生

《わたしたちは大和の自然を愛します》



◆◆◆◆◆

Contents

◆◆◆◆◆

リレー随筆・お元気ですか！.....	①	美味旬感.....	⑩
Monthly Repo.ならやま.....	②	自然俳句.....	⑪
仲間入りしました！.....	③	癒しの散歩道&里山団欒.....	⑫
イベントレポ1 & 仲間入りしました・続.....	⑤	エクレール・お菓子放浪記.....	⑬
イベントレポ2.....	⑥	行事案内.....	⑭
自然観察レポ.....	⑦	ならやま景観整備&自然教室スタッフ募集.....	⑮
やさしい昆虫講座⑬.....	⑧	青垣春秋.....	⑯
鳥シリーズ&地域情報.....	⑨	幹事会報告・ペン画に寄せて・編集後記.....	⑰



鹿背山逍遙

木村慎司郎

恭仁京に位置し、近世には禁裏、撰家一条家所領の地幕府直轄領もあった、南山城・鹿背山の里。凜冽とした寒気の中を、観音寺峠から小さな尾根を北へ辿る。上空のオオタカを視野に、谷間に潜むカスミサンショウウオの、微妙な気配を感じる。杣道は、か細く消えかかり、時の流れの中で、里山がおぼろげに廃れてゆく。その余韻にひたれるのが、何よりよい。自ら愛惜の念が生まれてくる。群笹を分け、冬芽を見遣り、無心と雑念を交錯させながら、クヌギ・コナラの落葉を踏みしめる。自分なりの人生観・死生観を抱いて彷徨する、自己の存在を意識する。辿り着けば木津川の河畔。対岸には、水害犠牲者鎮魂の「南無阿弥陀仏」の石碑が建っているという。

程遠からぬ下流には、昔日の、木津の渡しの残影が甦る。遊び心の回文で一首

弓張りの 月の訪ひたる 鹿背山や
たびと
 せかる旅人の 木津乗場見ゆ



何事も基本動作！

中西建夫

運転免許を長く所持していると、つい疎かになりがちなのが、基本動作です。

日本自動車連盟（J A F）発行の雑誌の記事によると、道幅の狭い急な坂道の途中、間違いに気付き前進（D）に入れたままブレーキペダルを離す・踏むの繰り返しをしてバックで下り切ったら（チェンジはDの前進状態・車体は後進）、現代の車両は電子（I C）化されており、誤作動が発生する。後進ではRチェンジにすることです。



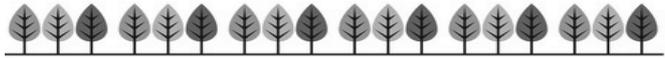
自動車と農機具では、若干の違いはありますが、（前進・後進の基本動作は同じ?）。里山で耕耘機を操作中、「回転耕作爪」の操作レバーを「入り」の位置で、エンジンの始動操作をすると、誤作動が発生する。

エンジンを始動する時には、回転耕作爪レバーと前進後進レバーの二つのレバーは、必ずニュートラル（中立）にして操作したい。

折 節 寸 感

いよいよ春本番と **な** ってきました。野山では草木の新芽が、彩 **ら** れつつ日々膨らみを増していく。先日も、**や** まの自然観察路整備に時間の経過も忘れ、**ま** 新しいチェンソーなどを使っていた人が、**さ** わやかな表情で、汗をふきふきBC基地へ **と** 戻って来ます。計画通り整備が進み、うら **や** ましいばかりの爽やかさが、感じられる**や** **ま** ざとの光景です。まだならやまに来られた **り** していない会員さん、「是非一度、お越し **ん** しゃい」（里山人）

Monthly Repo. ならやま



2/23(木) 雨天中止

2/25(土) 小雨 [参加者25 + 15名]

小雨の中、公開イベント「しいたけをつくらう」を実施した。(インフルエンザの影響か)

参加者は午後からの参加を入れて児童9名、保護者6名の計15名と寂しい開催となった。午前中、菌打ちをテントの中で行ったあと、椎茸の採取をした。午後からは遊びの森で木の伐採や保護者達が見守る中、子供たちはロープ遊びやブランコを存分に楽しんでいた。

3/1(木) 晴 [参加者40名]

里山Gは29地区の基礎整備に先立ち、貯水池整備のため、堤周辺の立木伐採作業を行った。農園Gは春野菜の播種の準備。景観Gはビオトープ池の泥浚えを完了し、護岸工事を開始した。

午後から、コロコロポット運動のクヌギの苗床造成とチップ入れをする。



3/8(木) 曇 [参加者40 + 2名]

里山Gは29地区の基礎整備。農園Gはサツマイモ畑の準備、ジャガイモのマルチ掛け。景観Gはビオトープの護岸工事を継続。育苗床にクヌギのドングリの植付をする。

県風致景観課坂野係長他1名が来訪、古川さんの案内で彩りの森の状況を視察、彩りの森遊歩道構想に関心を持たれた模様。



3/11(日) 晴後雨 [参加人員10 + 36名]

北摂森林ボランティアセンター(3団体36名)の方が来訪。各団体の自己紹介の後、阿部会長、古川さんが当会およびならやまプロジェクトのこれまでの経緯と活動の現状について説明をした後、3班に分かれならやま里山林を案内した。

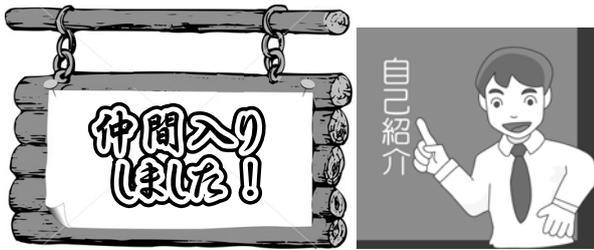


昼食後、それぞれのボランティアが抱える問題点について質疑応答がなされた。その後、会長と小田さんの案内で、佐保自然の森を見学の後、ウワナベ・コナベ古墳、平城宮跡を経て西大寺へ向かわれた。

3/15(木) 晴 [参加者38名]

里山Gは29地区の基礎整備を継続。農園Gは春野菜の種まき(ホーレンソウ、小松菜、ニンジン、ダイコン)。景観Gはビオトープの土手の修復。新池の木道作り完了。新池の掘削作業を継続した。

(藤田 記)



◇◆◇新入会の皆さんに、入会の動機
や抱負をお伺いしました。◇◆◇

【小島 武雄さん】・『自然と一体に』

昨年末に、実習で斜面地の伐採を手伝いました。ふかふかに積った枯れ葉の中で、寒い日なのに、汗をかいての結構ハードな作業をおぼえています。家から40分で行ける所と、自然と一体になれる気がして参加を決めました。何気なく見ていた、あの山の中で、こんな事が行われていたとは驚きです。

自転車であちこち行くのが、好きです。アンチエイジングを目指して、ランニングも続けています。奈良マラソンにも参加しました。明るく、元気に、無理せず、この美しい自然を守るための活動が楽しみです。

[JR学研都市線「長尾駅」徒歩10分]

【坂東 久平さん】・『里山整備と例会』

1月22日の新春講演会「春日山原始林の未来を考える」を聴講しました。。主催の当会ホームページを拝見して素晴らしい活動をされている会であることを知りました。早速、阿部会長にメールを差し上げ入会の手続きをした次第です。

会の活動では、里山の整備を中心に、例会へ参加をしたいと思っています。山歩きや写真、洋蘭栽培、4Cから8C頃の歴史に興味があり、最近古墳に力を入れています。

68歳でリタイア後、昨年3月まで5年間「なら・観光ボランティアガイドの会・朱雀」で観光ボランティアガイドをしていました。

【辻本信一さん】・『大和は国のまほろば』

—昨年、『平城遷都1300年』記念の年、13年振りに奈良の地に戻って来た。今の住まいは、生駒山脈を境に大阪とは比べ物にならないきれいな澄んだ空気を肌で感じ、30年前から終の棲家と決めていた。その奈良での新たな生活が始まった。

シニア自然大学校では仲間にも恵まれ、仕事人間であった自分自身を大改造、期待以上の成果を得た。さてこれから愈々本番、「大和は国のまほろば」、このすばらしき良きところにて、悠久の昔より受け継がれた奈良の自然、文化、歴史を更に掘り下げ奈良学を極めたいと思う。

【田中 修さん】・『良い里山作り』

去年より県のシルバーカレッジに約1年間学んできましたが、この度研修で、「奈良・人と自然の会」に見学参加し卒業後の活動場所を見つけました。

会長はじめスタッフの方々の説明に感動しました。特に奈良市内で、自宅に近く活動できること喜んでおります。

土いじりはダメですが、道具・機械を使用し体を動かす事は好きです。生活環境に興味をもっています。良い里山作りに参加したいです。

【隅田 勝之さん】・『自然を守る活動』

退職後に(住んでいる)奈良の名所旧跡を巡るようになり、古都奈良の歴史ある景観・遺跡・趣が、悠々の自然の中に色濃く残る美しさを実感するようになりました。

今般、貴会にお誘い頂き、奈良の美しい花鳥風月を守る諸活動をお伺いしました。

皆様のご指導を頂きながら、奈良の自然を楽しみながら守る諸活動を、是非ご一緒させて頂きたいと思入会致しました。

何卒宜しく願い申し上げます。



【中川 瑛雄さん】・『里山を守る』

私は大阪生まれで大阪育ちです。趣味は旅行、ついでに山登り、ハイキングです。緑の少ない市内から郊外の山の風景の中を歩くと心がいやされるのを感じます。

綺麗に手入れされた里山を見ると、自分も作業出来る場がほしいと思っていました。自然大学校で、里山を守るのは長い時間と労力とが要ると学習しましたが、その仲間に加わりたいと思っています。

【上郡 邦輝さん】・『末永い活動を』

奈良に移住し四半世紀、第2の故郷の感を覚えます。当時は勤務先や娘の通学も大阪へ、奈良に住まう必然性もなく気が付けば定年。

第二の人生を問われる中、平城遷都1300年祭のボランティアを手始めに、県立美術館、ユニセフなどで地域活動を始めました。

昨年シニア自然大学校に学び、新たにこの度の機会に恵まれました。幸い住宅に隣接しており、末永い活動が出来ればと考える日々です。よろしくお願いします。

【平 常男さん】・『水の調査』

会との出会いは、教育実習での2回でした。竹の間伐と新しい開拓地の紹介を覚えています。シニア自然大学校を17期で卒業し早一年。その間、水生生物研究科で水の中の生き物の調査を続けてきました。その活動の中に、ならやまビオトープでの調査がありました。

大阪・兵庫の河川敷での調査の多い中、ビオトープでしかも奈良、家からバスの乗り継ぎで一時間弱の距離の魅力。丁度研究テーマを水生昆虫に絞ったことから、今年の2月より木曜日以外を含めて数回お世話になっていました。

ビオトープの調査以外にこのあたりの水についても知りたくなり、新年度から入会するか・好きなときに参加するかを迷っている頃、古川さんから誘われ入会を決めました。

『無理をせず』『楽しく』『助け合いつつ』のスローガン。楽しんでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

【松本 武彦さん】・『温もりならやま』

「兎追いしかの山 小鮒釣りしかの川・・・」。明治時代の唱歌「ふるさと」の一節ですが、平成の今でも歌うことの多い、好きな歌の一つです。私には、この大好きな歌の風景と「ならやま里山林」が重なります。それは、穏やかな自然のもとで平和に暮らす人々の昔懐かしい光景です。

私は今、曲がりなりにも米も作っていますが、このような素晴らしい自然と和やかな皆様の中で気持ちを新たに、農作業等を通して自然の恵みや自然との共生について勉強させていただきたいと思っています。

趣味は、昔は登山、今はオカリナ演奏です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

【有元 康人さん】・『第二の青春』

私は昭和23年生まれで少し早いですが、フライング気味にスローライフを楽しんでいます。

50代前半に定年後の楽しみとして、三重県伊賀市(旧阿山町)に築100年以上の古民家を購入し、休日に家庭菜園や山野草の栽培鑑賞等行っていました。

定年一年前に会社から希望退職の公募があり、計画を早めスローライフの生活に入ることになりました。現在は、週末を含め4日を奈良、3日を伊賀で生活しています。

奈良では、テニス(矢田山でテニスを楽しむ会)、奈良市民走ろう会でランニング、青樹会では絵画(オイルパステル)に挑戦しています。

今回、奈良マラソンに挑戦し、初マラソンで3時間43分で走りきることができました。

伊賀では屋外で自然とともに大地と戯れていますが、楽しい中でも家庭菜園とは言え、経験不足で苦戦しています。

現在は妻と二人で楽しんでいます。会に入れていただき、活動の中で全ての面でレベル上げていきたいと思っています。

健康と体力が売りの私ですが、会に積極的に参加し、第二の青春をより充実していきたいと思っています。



イベントレポ①

北摂森林ボランティア3団体交流会

3月11日(日)、高槻市、茨木市、三嶋町の森林ボランティア3団体の交流会が、奈良・人と自然の会“ならやまフィールド”で開かれました。参加者は36名と阿部以下8名で対応しました。

既にさまざまな実践活動をなさっている団体で、NPO森のプラットホーム高槻 [102名]、茨木里山を守る会 [102名]、フォーレスト島本 [35名] と、それぞれにしっかりと基盤を築いておられます。驚異的な活動実績を誇る島本、しっかりとした基地を確保しておられる茨木、ストック調査という地籍調査から発した取り組みを進める高槻と、それぞれに特徴をもった活動の様子は、刺激的な発言でした。地域に根差したグループの強みを実感したものです。

「ならやまプロジェクト」が、ベースキャンプがある実践地であり、里地も含む活動ということで多彩な内容がある点、それをしっかりと土台にしていること等を高く評価していただきました。



広い里山林が確保できていることや、将来を見据えた計画を作り、長期にわたってフィールドとして維持することが、良好な結果を紡ぎだしていると改めて感じました。

少し遅い昼食でしたが、名物豚汁は見事に完食され、いつもながらの好評でした。その後「佐保自然の森」を見学してもらい、雨模様のなか西大寺まで、小田さんの案内で一緒に充実した一日となりました。(阿部和生記)



北摂交流・集合写真

イベントレポ②

やってみよう!しいたけづくり

2月25日(土)雨の中、恒例の公開イベント「椎茸づくり」を開催した。午前10時すぎから受付をしたが、雨のため子供7名、大人4名という寂しい開催となった。

初めに阿部会長から「東北大震災のときに電気がない中でも《ノコギリ》で木を伐って燃やして暖を取ることができた。」という話、古川幹事からは「山に入ったら常に足元をしっかり見て、怪我のないように!」と注意、森幹事からは紙芝居形式で「椎茸づくり」の工程説明があった。

天気なら、遊びの広場の西斜面で、椎茸菌打ち作業をするのだが、雨のためベースキャンプに張ったテントの中で、椎茸菌打ちを行った。



一通り菌打ちが終わった後、子供たちのお土産用に50cm程度のコナラの

原木を鋸で半分に切る作業に、鋸が初めての子供もいて相当の時間を要した。その後、初めて手にする電気ドリルでの穴開け作業を子供たちは楽しんでいった。



学びの森の東側シイタケ栽培地へ雨の中を「しいたけ」が採取できることを願いつつ出発。

現地では森幹事からの椎茸の採取方法の説明を受

け、子供たちは大きい順に約50~60個収穫していた。



お昼は美味しい豚汁でお弁当を食べてから、午後からのブランコとロープ渡りの準備に出発した。

途中、私の携帯に電話があり、私はホットした。その訳は前日の参加申込みで午後から参加予定のご家庭からの電話で「主人も参加してもよいか。午後1時前には到着する。」とのこと、この親子4人の参加によって、奈良県森林林業体験学習事業の補助対象となる、15人を辛うじて達成でき、私は胸を撫で下ろすと同時に、すぐベースキャンプに戻った。



終了後の反省会で、参加人員の少ない理由として開催時期、募集方法、学校行事との関連やインフルエンザの流行などが考えられ、「椎茸菌打ち」の時期について見直すこととなった。

追記、参加者の和香さん(小2)と颯人君(小3)、ほのかさん(小4)の3人から、礼状が届きました。
(永淵元弘記)



ならやま里山林花だより

吉村 さつき

3/15(木)

ひと雨ごとに暖くなりました。男性陣が苦勞して植えたベースキャンプ横の大島桜が、今年は沢山の蕾を付けています。大変嬉しく開花が楽しみです。

里山でミツマタの蕾を見つけました。ミツマタ(三叉)は、枝がすべて三つに分かれるのが特徴で、名前の由来にもなっています。花は多数の小花が、球状に集まった花序をなし、花弁は無く四枚の卵形で黄色のがくへんが、花弁のように開きます。

樹皮は高級和紙の材料になり、紙幣や証券用紙として使われています。

草花

オオイヌノフグリ、ハコベ、タネツケバナ、ナズナ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ

木の花

アセビ、ジンチョウゲ、梅(赤・白)、ヤブツバキ(赤)、クロモジ

木の蕾

ヤマザクラ、シダレザクラ、オオシマザクラ、ヒサカキ、アオキ(雄・雌)

木の実

マンリョウ(赤・白)、クチナシ、ミツマタ、アオキ、ヤツデ

ならやま里山林鳥だより

小田 久美子

3/12(月)

菊川さんと10種25羽を確認しました。

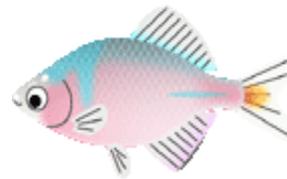


《春の訪れを待つように咲くミツマタの蕾》

ペタキン日記

羽尻 嵩

奈良の方言で、



ニッポンバラタナゴを“ペタキン”という。

2/2(木)

ニッポンバラタナゴ育種のための新池造りを始める。旧池との改修と同時進行だったので、作業がなかなか進まない。時間があれば「ならやま」に行き、昼はおにぎりを食べ、のんびりと休みを取る。時々カラスを脅して憂さ晴らしをする。

肉体労働の疲れは、精神労働の疲れよりまだいい。アンマ器のお世話になり、風呂に入っただっすり寝れば、また元気が戻ってくる。時にはお灸をすることもある。

目標に向かって邁進する。なんと充実した日々か。

3/9(金)

近大の北川先生と学生が来られ、ペタキンと共生するドブガイの1種のタガイ10個を、旧池の木枠の中に放流された。貝のご機嫌取りが始まった。貝の友達のヨシノボリとペタキンも、夏までにはこの里にやってくるだろう。

3/14(水)

今日も「ならやま」を1人占め。“春は名のみの風の寒さや～”

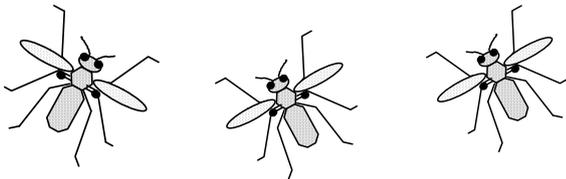
やさしい昆虫講座⑱

アブ、ハエの
食べ物は
なんだろう？

木村 裕

春になるとミツバチやハナアブが、色々な花に甘い蜜と花粉を求めてやってきます。模様や姿形はよく似ていますが、似て非なる虫です。よく見てください！ ハナアブは羽根が2枚しかありません。このように羽根が2枚しかないことから、双翅目と呼ばれていましたが、最近は分かりやすい言葉に言い換えてハエ目と呼んでいます。アブ、ハエ、カなどが同じ仲間です。よく見ると後翅の代わりに、平均棍と呼ばれるマッチ棒のような形をした代替物があります。しかし小さくて目立たないので、2枚の羽根しか目につきません。

ハエ・アブ類の幼虫は一口で言えばみんなウジムシで、主として腐った物を食べていますが、青々とした葉や生きた虫、ときには家畜などを狙う虫もいます。



皆さんに馴染みの深いのは？？イエバエ、ニクバエ、キンバエの仲間だと思います。成虫は汚物の上を歩き回り、そのまま汚れた足で食物の上を歩き回るので、潔癖な人々から病原菌を運ぶと忌み嫌われています。幼虫は典型的なウジムシで、腐った物を食べています。

ハナアブと同じように花にやってくる、黒地に黄色の縞模様のあるスマートなアブは、ヒラタアブと言ひ、幼虫はアブラムシを主食にしている非常に有益な虫です。しかし、家庭菜園愛好家の中には、ナスやキュウリに変な虫がいるとあって、一生懸命取り除いている事例が多々見受けられます。ならやまの皆

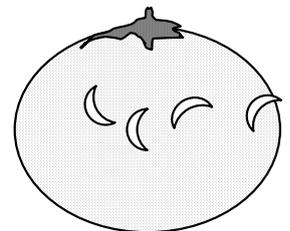
さんは大丈夫ですか？

ハエやアブは、ハチのように刺す針は持っていませんが、口が尖っていて人や動物を刺すタイプのアブもいます。その代表がウシアブの仲間、油断しているとチクリとやられます。名の通り、牛などの家畜の血を吸っています。人の場合、刺されることの一過性の痛みのみで、血を吸われることはありませんので安心を。人の血を吸うのは、もっと小さな5ミリ前後のブユと呼ばれる蚊の仲間です。これに刺されると患部は赤く腫れてかゆくなり、体質によりますが1ヶ月くらい腫れが続く気の毒な人もいます。

山歩きをする人を悩ますのは、目を狙ってやってくるメマトイというアブの仲間です。なぜ人の目玉を好むのかは、まだ分かっていません。

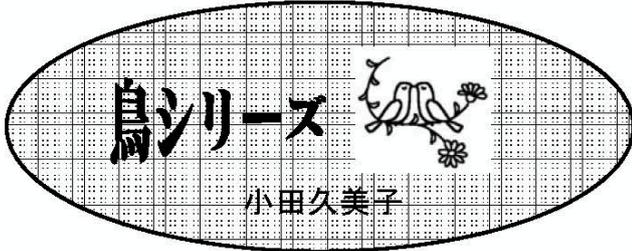
ハエの変り種は、ハモグリバエと言う小さなハエで、幼虫のウジが葉の中に潜ってトンネルを掘るように、葉の組織内を食い荒らすので葉に白い筋が現れます。顕著な例は、春にエンドウの葉に表れる白い筋で、葉全体が真っ白になることがあります。

果物の果実内に潜るミバエ(実蠅)は、農業上重要な害虫です。幸いにも日本には、穏やかなミバエしか



おりません。熱帯地方にはミカンやマンゴなどに、幼虫のウジが食い込む強力なミバエがいるため、海外からの果実の持込みが禁止されています。

毛虫やイモムシの生きた組織を食べる寄生バエもいます。成虫のハエは、毛虫の体の表面に卵を産みつけ、ふ化したウジは、毛虫の体内に食い込み、毛虫の成長にあまり影響のない部分から食べて成長し、毛虫が蛹になろうかとする寸前に、心臓など重要な臓器を食い荒らして、内部を空っぽにします。やがて寄生バエの丸々と太ったウジは、皮だけとなった哀れな毛虫から抜け出して蛹になります。



◆◆◆ ジョウビタキ ◆◆◆

冬のならやまの畑でアイドルだったジョウビタキのジョー君。この冬はとうとう見かけませんでした。かつてチェルノブイリ原発事故後、渡り鳥が減少したという研究報告があります。軽々しく断定は出来ませんが、福島第一原発事故のことも渡り鳥に影響しているのではないかと話もあります。

自然界での小鳥たちの寿命はかなり短命です。私が庭に来る子をジョー君、お嬢と命名して観察を始めてからもう4半世紀。その間4・5年経つと固体が入れ替わっていましたので、渡りの途中、嵐で命を落としたのか、捕食者に捕まったのかもしれない。



春の渡り前に囀りの練習をする(ゲゼリ)ジョー君に聞き入ったものですが、来年は違う固体が来てくれるのか。冬鳥の少ない自然が心配です。

地

★(斑鳩) 私達の散歩コースにカラスが3つ巣を作っています。1つ目は空巣を修繕したもので時々すわっています。2つ目は竜田観音前のクヌギの木にいつの間にか作っていました。3つ目は斑鳩で1・2の大木のエノキに作っています。その所にはイカルがよく来る木なので、カラスに邪魔だと言われ来ないのではないかと心配しています。

★3/1(木) 平城山駅を降りた時にウグイスの鳴き声を聞きました。ならやまでも聞きました。

域

★3/10(土) 近鉄関屋駅でウグイスの鳴き声を聞きました。斑鳩ではまだ笛鳴きしか聞いていません。(昨年2/21初鳴き)(勝田)



△イカル



△ウグイス

情

報

美味旬感

レンゲソウの名は、図鑑ではゲンゲと出ているが、花がハス同様に仏様が座る蓮華に似ているからです。一面のれんげ畑に寝ころがって遊んだ思い出がある人も多いと思います。

昔は根の根瘤バクテリアを利用して肥料とするために、どの田畑でも植えられていて、一面のれんげの花畑を見ると、思わず飛び込みたくなったものです。今思えば結構お百姓さんにご迷惑をかけたのではと思いますが、叱られた覚えはないのです。

花の蜜を吸って蜜蜂になった気分を味わい、後は蜜蜂に感謝して、れんげ蜂蜜をいただきます。

レンゲソウは全草食べられます。やさしい味わいの草で、あまりあくもないので、何にでも出来ます。でもマメ科の匂いがあるので

自然をちよっぴりいただきます!

西谷 範子

さっと茹でて使ってください。摘む時はあまり下の方の固いところは、避けたほうが料理しやすいです。

おひたし、和えもの、酢のもの、おつゆの実と普段使いができますが、ちよっぴりおしゃれに刻んだレンゲソウを混ぜたチャーハンや、れんげご飯に、花や花びらを散らしてみましょ。花を使う時は、さっと茹でて甘酢に漬けると赤い色がそのまま残ります。

その花を使ったゼリーはデザートに。

昔から全草を干しておき、少し煎ってれんげ茶にする習慣があります。花を浮かべた花茶も趣きのあるものです。



奈良学&雑読野菜名クイズ



【A】

【B】

【C】

【問題①】上の3枚の絵は、奈良県内の有名社寺と関係があります。

寺の名称を漢字でお答えください。

【問題②】次の漢字で書かれた野菜名の読み方をひらがなでお答えください。

【D】蕃茄 【E】山葵 【F】薯蕷芋

◆全問正解の方に奥飛騨名産の伝統野菜を(時価1,000円相当)進呈します。(正解者多数の場合は厳正な抽選により決定)

◆応募方法は、メール(編集チーム・鈴木宛)をお願いします。

◆当選者のお名前は、[ネイチャーなら]5月号に掲載します。

応募締切

4月5日

午後8時



◇例会等の野外行事、[ならやま]景観整備活動等について、実施するか否かの判断基準は、次のとおりです。

◆前日pm7時前のNHK-TV天気予報で、降水確率(午前)60%以上の場合は、野外行事や活動は中止になります。

◆当会の行事における傷害事故等については、個人負担とし、当会は、賠償等一切の責任は負いません。





春の霜藁みの被る豆畑

鈴木未一

豌豆が藁筒に守られて寒さを凌ぐ。耕人の思いやり
初夏の実りが待たれる。

ものの芽の命蓄へ山の黙

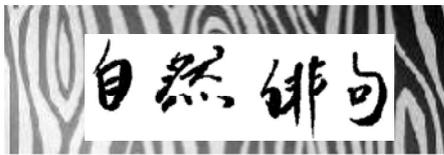
鈴木未一

草木の生命の輪廻が始まる。山の眠りの中で、
春に向けた静かな営みが続く。

チエンソーの遠くひびきて落ち葉みち

古川祐司

皆伐の山仕事が忙しい。寒風を裂いて機械音が響く。
立派な薪の貯蔵庫も完成。ハラシヨ。ハラシヨ。



監修 川井秀夫

年々の楢木ほだきの列や冬木立

古川 祐司

今年も椎茸の菌打ち。自然の不思議、木が茸を生む。
とれとれの旨さを賞味するのが待ち遠しい。

泥撥ねて虫魚の棲家池普請

川井 秀夫

絶滅危惧種ニホンバラタナゴの保護環境が整備中。
泥を被り、竹杭を打ち、涙ぐましい作業が続く。

薯種のニセコの土を恋しがり

川井 秀夫

某日。馬鈴薯の種を下ろす。南アメリカ原産だが
ジャガタラ（ジャカルタ）から移入された。
日本では北海道産が有名。異国の地で
豊かな収穫の期待を折るや切。





春よ来い

谷川 萬太郎



① なぜ?て首をかしげる春の衣擦れよ
軒先のしずくせつなく落ちる春雨が
願い叶うまでさかのぼる桜色の風は
恋しい春は迎える道の何処かできっと

雨に打たれて冷たく哀しそう
訪れる季節の鼓動を消し去り
肌恋しくて今日も待ち焦れる
季節の逸れ鳥を背に駆け巡る

② いじらしくも頭を垂れる季節の花よ
心のどかに漂う空よ雲よ澄み渡りて
柔らかな陽の光きらきら映る川辺に
交わす言葉もなく雲に隠れし青空に

待ち焦れる春の足音は今そこに
戯れる小鳥達の声は聞こえるか
麗しき草花が微笑む日はまだか
しびれを切らすうららかな春よ



最後のご奉公

竹本雅昭



◇榎 木：あっ痛た!! もっと芯に向けて
しっかりやれよ。

◇榎 木：本当か、またぐっすり寝るだけ
でいゝんやな。ほんまやな。

◆ドリル：すまんすまん、ご主人様のミスも
あるけど、あんたも少し“く”の字
に曲がってるから不安定なんよ。
すぐ終わるから我慢して。

◆ドリル：そうよ何も頑張ることはないよ。
そのままえゝねん。後はしい
た付菌が働いて美味しい雑草が
出来るのを待つだけ。

◇榎 木：やれやれ、回りの木と競争するこ
ともないし、安楽に土に帰れると
思ったのに、この上どうしようと
言うんだい。

◇榎 木：「老いて学ばば死して朽ちず」と
の言もあるけど、ひょっとして
俺のことかいな。余生を人々の
お役に立ち乍ら幸甚な木生だ。
感謝感謝。

◆ドリル：開けた穴にしいたけ菌の種駒を打
ち込んでそれで終り、あんたは
もう何もすることありません。

◆ドリル：あとがつかえてるで、早よ菌打ち
してもらい。あゝ忙しい忙しい。
キューン♪ キューン♪

映画

エクレール・お菓子放浪記

鑑賞の記



平岡久美

東北震災の援助のための上映会と聞いてチケットを買い求めた。宮城県の各地で撮影が行われ、昨年4月に上映が開始される予定を震災のために延期されていたとのことだった。

撮影場所となった石巻の風景や建物が、震災によって無残な状況になっていることは承知していたが、こうして撮影前の様子と比較してみると、改めてその悲惨さに胸が痛む。エキストラとして、多くの方が参加されていたが、その方々の安否はとも・・・。

昭和17年、孤児院から脱走したアキオが、あられを盗んで捕まった場面から物語は始まった。刑事が差し出したアンパンは、我を忘れてかぶりつくアキオにとって初めて口にする美味しい美味しいお菓子だった。言葉にならないほどの幸せを感じさせるお菓子の美味しさと、刑事の優しさがその後のアキオの生きる力となった。

感化院の辛い生活のなかで唯一の救いが、女教師の教えてくれた「お菓子と娘」の歌だった。以後、見たこともなく、食べたこともない「エクレール」に出会うことを夢見るアキオの放浪が始まる。

感化院から引き取ってくれ、初めての家族となった養母フサノが、アキオの稼ぐお金にしか興味を示さないことに絶望し家出、その後、旅の一座に加わったが、それも戦争のために解散となり、また一人ぼっちとなった。一筋の伝を頼りに戻った東京では、苦しいときに優しさをくれた大切な人々を失った。

家族ばかりか、心のつながりを持つ人すべてを失って絶望するアキオの姿と、今回の震災にあわれた人たちの姿が重なってなんともいえない気持ちになった。東京大空襲後の東京の様子

と津波で流された町の様子も重なる。

戦争が終わり、孤児たちの集団のリーダーとなって生きるアキオの姿はたくましい。

食料の足しになる賞品を求めて出場した「のど自慢」で歌う「お菓子と娘」の歌を聞いて涙があふれたのは私だけではなかったと思う。自分が生きる支えとなってくれたすべての人への感謝の気持ちが、澄みきった少年の声にしっかりと込められていた。

物が無く、人の心も荒んでしまいそうな過酷な時代、そんな中、人を幸せにしてくれるお菓子とそれにまつわる優しい人の存在に、主人公のアキオが支えられ、救われた。

強欲で、お金、お金と必死で生きていた養母フサノも、アキオが先生からいただいた「お菓子のレシピ本」をいつか渡せる日のために大切に保管していた。そんな心を持っていた。いしだあゆみが演じるこのフサノ、強欲で自分勝手ではあるがどこか憎めない。

今、物はあふれ生活の便利さは、日々向上を続けている。そんな中でもやはり、状況は様々である。さまざまな苦しさを持ちながら日々生きている人が、はたして人の心を暖め、幸せを運ぶお菓子となることができるだろうか。難しいと思うが、必要なことなのだろう。

文科省選定の作品だけに、優しさだけが強調されて、大人にはちょっと物足りないように思うが、家族で鑑賞するにふさわしい映画だと思う。

ホールの出口で、障害者が作ったという「エクレール」を求め、ほんの少し、震災支援募金をして、ホールを後にした。



行事案内



【4月例会】吉野宮滝・万葉の道から 吉野山(上千本・中千本)を歩く

吉野山には、下、中、上、奥と約200種3万本の桜が密集していると言われていています。今回、吉野宮滝から「万葉の道」のハイキングロードを歩き、上千本の中心地「花矢倉展望台」近くに出て、中千本の中心地「五郎兵衛茶屋」から、「ささやきの小径」を「吉野駅」へ下ります。今年は冬が厳しかったので、上千本の満開日が16日頃と予想されています。(3月5日現在)。上から中へ下り、文字通り一目千本を期待しています。

多くの方のご参加をお待ちしています。お友達とご一緒でも結構です。ただ「万葉の道」は、緩やかではありますが、スロープのある山道です。ハイキングシューズ・雨具をお忘れなく！

- ◆日 程；4月17日(火)
- ◆集 合；近鉄吉野線「大和上市駅」am 8:55
大和西大寺7:23—近鉄橿原線急行—7:55
橿原神宮前8:00—近鉄吉野線急行—8:49
大和上市(奈良交通バス) 大和上市9:03—
9:17宮滝
- ◆コース：宮滝→桜木神社→高滝→上千本花
矢倉展望台(水分神社手前)→中千本五郎兵衛
茶屋→(ささやきの小径)→吉野駅 (15:00～
15:30頃着の予定)
- ◆担 当；寺田 孝
平岡久美

ならやま・パードウオッチング

- ◇日 時：4月9日(月) am 9:00集合
- ◆集合場所：ならやま駐車場
- ◇小雨決行：判断の難しい時は担当者に…
◆担 当 者：小田
菊川



野外行事等は、前日pm7:00前のNHKTV天気予報で降水確率が午前60%以上の場合は中止。

【第11回通常総会開催予告】

平成24年度・第11回通常総会を下記の日程で開催します。議案は、平成23年度活動実績と会計収支報告、役員改選、平成24年度活動計画(案)と予算(案)等についてです。

会の現状とこれからをご理解いただく良い機会でございますので、多数の皆さま方のご出席をお待ちしています。

- ◇日時：5月12日(土)pm 1:30～3:00
- ◆会場：奈良市中部公民館
(奈良市上三条町23-4)
- ◇問合せ先：寺田 孝

【5月例会予告】・春の自然観察会

私市植物園で 春の魅力を探そう!



今年の例会では、自然教室チームの担当で、[自然観察会]を2回実施することになりました。早速5月に大阪市立大学付属植物園(私市植物園)で、春の息吹にあふれる自然を楽しみたいと思います。

楽しい一日となるよう頑張ります。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- 1, 日 時：5月22日(火)
am10:00～pm3:00の予定
- 2, 場所：私市植物園
(交野市私市2000)(TEL-072-891-2059)
- 3, 内容
 - ①植物園職員による見所ガイド
 - ②自然教室チームメンバーによる植物案内
 - ③ネイチャーゲームや自然遊び など
- 4, 集合
 - ◆電車で来られる場合：
京阪電車私市駅am9:30集合
 - ◆車で来られる場合：
am9:45植物園内に集合(駐車料金は500円)
- 5, その他：詳細は5月号でお知らせします。
連絡先：自然教室チーム
倉田 平岡





◆活動予定日

4月	5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)
5月	3日(木)、10日(木)、17日(木)、24日(木)、31日(木)

◆場所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林
[ならやま会館前道路(ならやま大通り)の南側に広がる里山林地]

◆集合：現地ベースキャンプ地・am 9:00

◆終了予定：pm 3:00

◆アクセス：(ダイヤ改正されました。)



①JR平城山駅下車、東口から南へ徒歩10分。

②近鉄奈良駅・バス13番乗り場
8:23発・高の原行(平日)

③近鉄高の原駅・バス1番乗り場
8:33発・JR奈良駅行(平日)

②③とも [佐保台西口] 又は [平城大橋] で下車、徒歩7分。

◆携行品など：弁当、飲み物、軍手
(作業用具は現地で用意)

◆環境保護のため



などは各自でご持参ください。

◆連絡先：木村 裕



『自然教室チーム』は、主として小学校で自然観察会をしています。

子供たちと一緒に「自然と親しむ」、「自然遊びをする」、という楽しい活動を目指しています。概要は次のとおりです。奮ってご参加ください。

1. 活動の概要

①小学校の授業や放課後教室などで校庭の自然観察会を担当します。

②要望があれば公園等での自然観察会を実施します。



2. スタッフの資格

経験は不問です。自然観察の好きな方、子どもの好きな方であれば誰でもできます。

また、実際の活動の準備のために、以下のような研修を行っています。

①自然観察(研修)会

②自然の不思議や魅力を伝える話し方の実習

③小学校の観察会では

下見に加えて、リハーサルの実施



3. 募集人員など

①人数には特に制限はありません。

②チーム内の連絡はeメールで行います。パソコンの利用可能な方をお願いします。

4. 申込みや照会：倉田宛に、メールまたはTEL/FAXをお願いします。





◇◆「歴史文化クラブ」スタート◆◇

奈良の歴史と文化を知ること、人と自然との関わりをより深く理解することに資したいと考え、同好の士と共にクラブを立上げることになりました。

[代表 川井秀夫] [事務局 古川祐司]

◆ 活動内容は、当面、年間4～6回程度の研修会を考えていますが、座学、歴史講演会やセミナーなどへの参加なども検討して参ります。特に今年度は、「古事記」編纂1300年に当たりますので、【古事記と出かける】をメイン・テーマに、下記のスケジュールでゆかりの地を訪ねる予定です。

◆ 年会費は1,000円、会合の都度の必要な費用は原則として参加者負担といたします。

同好の皆様のご参加をお待ちしています。

24年度の予定スケジュール（今後の変更もあり）

5月	立上げ記念	稗田の阿礼出生地を歩く	大和郡山市
7月	例会を担当	葛城氏の歴史を歩く	葛城古道
10月	(検討中)	(奈良豆比古神社の例祭・翁舞10/8)	(奈良市奈良坂町)
11月	研修会	玉津島神社・白山神社	軽の皇子・長谷の朝倉宮の伝承
12月	研修会(座学)	率川神社(伊須気余理比売 三枝祭の伝承)	奈良県女性センター
3月	例会を担当	山の辺の伝承地を歩く	山の辺の道

第1回研修会・ご案内

※※※ 私たちは今、歴史の記念すべき瞬間に立ち会っています。 ※※※

今年は、「古事記」編纂1300年に当たりますので、「古事記と出かける」をテーマに、5月を記念研修会といたしたく、ご案内いたします。皆様ふるってご参加ください。

記

- 1, 日時 5月14日(月) 小雨決行
- 2, 場所 ① 売太神社 稗田阿礼を祭祀
② 薬園八幡神社 聖武帝ゆかりの
薬草地の跡
③ 春岳院 豊臣秀長の菩提寺
- 3, 集合 近鉄郡山駅 東改札口 午前10時
- 4, コース 近鉄郡山駅 ⇒ 春岳院 ⇒ 薬園八幡神社 ⇒
⇒ 外堀緑地(昼食) ⇒ 売太神社 ⇒ 近鉄郡山駅
- 5, 解散 近鉄郡山駅 午後4時(予定)
- 6, 携行品 弁当、飲み物、筆記用具
- 7, 講義 八幡神社、売太神社では、宮司さんからレクチャーを聴く予定
- 8, 案内役 川井 秀夫 古川 祐司 弓場厚次 鈴木末一



平成24年・3月度
幹事会報告

日時：平成24年3月6日(火)
17:15~20:00

会場：奈良県女性センター

出席者：幹事16名、顧問1名

案件：

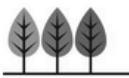
- ①会員数141名
- ②平成24年度の新体制等について
- ③会則の改定について
- ④24年度例会年間計画の確定
- ⑤ならやま新エリアの取組みについて

ペン画に寄せて 境 寛

奈良で桜の大樹と言えば、大宇陀の又兵衛桜が有名ですが、この宇陀市榛原にある仏隆寺千年桜も見事な桜です。大和三名段といわれる石段を覆いかぶさる桜は見事です。

仏隆寺は嘉祥3年(850年)に空海の高弟・賢恵が創建したと伝わる古刹です。室生寺の末寺ですが、大和茶発祥の地とされ、空海が唐から持ち帰った日本最古のお茶を栽培したといわれています。

品種がヤマザクラとエドヒガンザクラの雑種である「モチヅキザクラ」といわれています。

 編集後記 

ショーケース最前列に桜餅

◆老舗の和菓子屋さんのショーケースを覗くと、ほのかな香りを漂わせて桜餅が飾られています。植物の新芽が待ち焦がれていたかのように、どんどんと伸びてきます。いよいよ春本番の到来です。

◆ならやま里山林では、春作野菜の植え付けや種まきがピークを迎えています。大和伝統野菜だけに限らず、奥飛騨地方の伝統野菜や山形県最上伝統野菜等の栽培にもトライします。収穫の時が楽しみです。安全安心野菜を目指して、有機栽培に取り組んでいます。種苗の植え付けに是非お越しくください。

◆里山では萌芽試験区の準備がほぼ完了。彩りの森に昨秋植樹した木々も芽吹き。佐保自然の森は、フラワーC. から譲渡樹木類の植え付けも完了。桜の蕾も膨らんできました。

◆今年は古事記編纂1300年、30人を超える皆さんが集い[歴史文化]クラブが発足。活動計画や内容等は、【青垣春秋】欄でお知らせします。また、各種チームやクラブ等の紹介も順次掲載していきます。乞うご期待！

～ From the editors ～

◆今月号の編集から4人で担当します。参加型イベントの報告や自然を愛する各種の活動を、より多角的に紹介していくように努めます。新企画等も含めて、ご忌憚のないご意見をお寄せください。お待ちしております。(里山人)

5月号の印刷・発送予定について

日時：平成24年4月27日(金)午前9時～

場所：奈良市ボランティアセンター

奈良市法蓮町1702-1 TEL0742-26-2270

※皆様方のご協力をお願いいたします。



奈良・人と自然の会



会報誌[ネイチャーなら]編集チーム・代表

鈴木末一